



世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

不登校

最近の新聞記事から

「不登校最多 小中 35 万人 文科省調査 12 年連続で増加」 (毎日新聞 2025 年 10 月 30 日) 朝刊 1 面

「不登校最多 子供と保護者の孤立防ぎたい」 (読売新聞 2025 年 11 月 5 日) 朝刊 3 面

「学びの多様化学校」84 校に 文科省追加指定 不登校の子に対応」 (日本経済新聞 2026 年 4 月 9 日) 夕刊 9 面

小・中学校の不登校は 12 年連続で増加しています。2025 年 10 月に公開された文部科学省の調査結果(※1)によると、2024 年度の小・中学校の不登校児童生徒数は約 35 万 4 千人と過去最多になりました。

文部科学省では 2023 年 3 月に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策 (COCOLO プラン)」を公表し、不登校特例校 (現在は「学びの多様化学校」に名称変更) の設置を打ち出すなど、対策を講じています。学びの多様化学校は増設されており、千葉県では 2025 年 4 月に習志野市と浦安市の 2 校が開校、全国では 2026 年 4 月に 84 校まで拡大しています。

今回は、不登校についての支援や対策、多様な学び方等について知るための資料・情報をご紹介します。

調べ方案内 (パスファインダー) 「[いじめ](#)」もあわせてご活用ください。

(※1) 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 (詳細は次ページ参照)

【不登校について知る】

書名・記事名・サイト名	出版情報・サイト情報等
こども家庭庁における不登校対策	こども家庭庁 https://www.cfa.go.jp/policies/futoko-taisaku Web 情報
不登校の状況、国における不登校対策、こども家庭庁の取組、相談できる窓口などを掲載。「不登校に関する地元の相談窓口」のリンクからは、エリア別に近隣市町村の相談窓口を調べることができる。	
不登校のはじまりからおわりまで	齊藤万比古監修 日東書院本社 2025 中央 : 37142/135 図書
児童精神科医の著者が、不登校のはじまりから乗り越えるまでの 4 ステップについて解説。子どもが学校にいけなくなる理由や不登校中の生活、周囲の人ができることや適切な支援についても記されている。	
不登校のあの子に起きていること	高坂康雅著 筑摩書房 2025 中央児童 : J371/㊦ 図書
青年心理学の研究者であり、公立中学校で相談員の経験がある著者が、不登校の子どもや親の気持ちを説明。家庭での対応方法、学校との相談・交渉方法などについても紹介している。	

【多様な学び方について知る】

<p>千葉県の主な不登校児童生徒支援について</p>	<p>千葉県庁 Web 情報 https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/seitoshidou/ijimemondai/futoukou-taisaku.html</p>
<p>不登校児童生徒が自宅から参加できるオンライン授業配信（エデュオプちば）や、児童生徒に適した相談機関を一覧にした電子パンフレット「千葉県版児童生徒・保護者のサポートガイド」などの情報を掲載している。</p>	
<p>不登校でも学べる</p>	<p>おおたとしまさ著 集英社 2022 図書 中央：37142/123</p>
<p>不登校特例校・教育支援センター・フリースクールなど、学校に行かずに学ぶ方法を網羅的に取材し、その実態を詳細に記述している。児童生徒や担当教員・スタッフのインタビューも多数掲載。</p>	
<p>特集「不登校30万人、「多様化学校」受け皿に本誌調査 数年で2倍の約50校へ」</p>	<p>『日経グローバル』（第913巻478号 2024.2） 雑誌 p6-17 中央</p>
<p>不登校になっても学習を続けたい子どもが、どのような支援を受けられるのか説明した記事。選択肢のひとつ、学びの多様化学校について、どのような教育が受けられるのか、実例を挙げて紹介している。</p>	
<p>あなたが学校でしあわせに生きるために</p>	<p>平尾潔著 子どもの未来社 2024 図書 中央児童：J369/ヒキ</p>
<p>子どもの権利を法律に照らし合わせてQ&A形式で解説。「Ⅲ 不登校」では、教育機会確保法により多様な学びが認められるようになってきたことなどについて述べている。</p>	

【不登校に関する調査・考察】

<p>児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（※1）</p>	<p>文部科学省 Web 情報 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm</p>
<p>全国の小中学校と高校を対象にした、暴力行為、いじめ、不登校、自殺等の状況等についての調査。</p>	
<p>特集「不登校と学校」</p>	<p>『そだちの科学』（第44号 2025.4） 雑誌 p1-109 中央</p>
<p>発達障害・いじめ・対人恐怖症・摂食障害など、様々な症例・問題と不登校の関連について、それぞれの研究者らが分析し、支援策などを挙げている。p13-19「なぜいま不登校が急増しているのか」では、不登校増加の原因を分析、対応策についても検討している。</p>	
<p>特集「不登校支援と教育機会の確保」</p>	<p>『季刊教育法』（第221号 2024.6） 雑誌 p1-49 中央</p>
<p>p26-33「「学びの多様化学校」へどう転換すべきか」では、不登校の児童生徒全てに学びの場を確保することを掲げているCOCOLOプランについて、意義や問題点、学びの多様化学校との矛盾解消策などを考察している。</p>	
<p>学校に行かない子どもの社会史</p>	<p>田中佑弥著 慶應義塾大学出版会 2025 図書 中央：37142/131</p>
<p>不登校の研究が本格的に始まった1960～1980年代を中心に、不登校児童生徒への対応や認識の変化を考察。「登校拒否はどの子にも起こりうる」とした、1992年文部省（当時）の報告書による方針転換についても言及。</p>	